



国立療養所大島青松園看護課からの情報発信として「せいしょうくん便り」を季刊誌として発行することになりました。大島青松園の入所者さんの生活の状況、各部署の活動、看護課の教育の内容などをお伝えします。

平成27年夏祭り報告

昨年は台風のためやむなく中止となった夏祭りですが、今年8月5日は、お天気に恵まれて無事夏祭りが開催できました。夏祭り開催前日は35度を超える猛暑で、汗だくになりながらテキパキと準備が進み、さすが「チーム大島」でした。

夏祭りには、例年多くの来院者で、混雑が予想されるため安全面を配慮し、今年は職員関係者の参加を控えることになりました。いつもと比べ参加者が少なくさみしい感じもありましたが、入所者さんからは、「ゆっくりとお祭りを見ることができて良かった。」という声もありました。

松林のお座席で、入所さんがお客さんとお酒や食事をそれぞれ楽しんでいる姿、不自由者棟の玄関前でお囃子を聞き、手拍子をしながらかみこを踊っている姿、大きな花火を見て「きれいね～。きれいね～。見られて良かったね～」と何度も言われている姿もありました。

夏祭りを楽しんでいる入所者さんを見ると、「また来年も満面の笑顔が見れる夏祭りが開催できるように…」と思います。



初めての夏祭り

病棟看護師 横山 深香

何十年と続けられてきた大島の夏祭り。2月に入職した私には、初めての夏祭りでした。数週間前から、大島の立派な松の木々の下に、屋台の柱がたくさん組み立てられ、夏祭りの準備が始まりました。当日、臨時の船便の時刻表が張り出され、いつも静かな大島にたくさんの人が来られるのだなあと驚きました。夕方、病棟ホールの外側に椅子を並べ、たくさんの入所者の皆さんが座って、踊りの列が来るのを今か今かと待っていました。はるばる徳島から阿波踊り、高知のよさこい祭り、高松の「一合まいた」と各地の踊りを一度に見ることができ、お囃子に合わせて踊りだす人も。やがて、ドン、ドンと花火を打ち上げる大きな音が鳴り響き、祭りはクライマックス。私は夜勤で見ることができませんでしたが、その音だけでも十分迫力がありました。来年は花火を見てみたいな…(残念)。

中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会 報告

平成27年度中国・四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会が、9月12日に山口県下関市の生涯学習プラザで開催されました。口演は20題、示説は59題の発表がありました。当園からは、病棟看護師、高橋久雄さんが「統一した生活援助を目的とした取り組みとその効果—生活援助の評価にFIMを活用して—」という演題で発表されました。日々の日常生活援助を行う入所者さんに対し、看護師・介護員が同じ視点で援助を行えるように取り組んだ成果を発表しました。高橋看護師さんの発表は、7題発表群のトップバッターでしたが、落ち着いて発表し質問にもスムーズに答えられていました。スーツ姿もピシッと決まっていますね。

来年は、鳥取県で開催されます



入所者学習会 「野菜の栄養」 開催

治療棟看護師 山尾日登美
(イキイキキラキラグループ)



「野菜の栄養」について入所者さんへ学習会をしました。野菜の1日摂取目標量や野菜摂取の現状、野菜の食べた方の工夫、ニンジンなど主な野菜の栄養をお話しました。その中で、入所者さんからも野菜作りの苦労や楽しみのお話を聞くことができました。

その後、ミニクリエーション「早口言葉」を行いました。簡単なようで、以外と難しい言葉に笑いか絶えない時間でした。

また、スタッフ手作りのしそジュースとゴーヤケーキをみんなでいただきました。和やかなひと時となったと思います。



編集後記：

初めて発行した広報誌はいかがでしたか。大島青松園の入所者さんの生活の状況、各部署の活動、看護課の教育の内容などを伝えていきたいと思っています。

原稿依頼の際にはご協力ください。また、ホットなニュースがありましたら、担当者にご連絡ください。

国立療養所大島青松園

〒761-0198

香川県高松市庵治町6034-1

TEL 087-871-3131

FAX 087-871-4821

URL <http://7301s001.oosimasei.nhds.go.jp/>

発行者 看護課ホームページワーキンググループ